

## 試験場の役割と研究方向

全道的な視野で酪農に関する総合的な試験研究を行い、環境に配慮した低コストで安全・高品質な牛乳の生産技術の開発を進めています。具体的には、飼料自給率向上のための飼料作物の品種改良、草地管理、飼料調製、乳牛飼養などの生産技術や家畜ふん尿の処理・利用の技術開発に取り組んでいます。

同時に、釧路・根室圏を対象に、地域に密着した試験研究を行うとともに、新しい技術の実証と普及を進めています。

## 歴史

- 1927(昭和2)年 中標津町桜ヶ丘に北海道農事試験場根室支場として設置される。
- 1950(昭和25)年 農業試験研究機関の整備統合に伴って北海道立農業試験場根室支場となる。
- 1964(昭和39)年 本・支場制の廃止により、北海道立根釧農業試験場となる。
- 2003(平成15)年 現在地に移転し、庁舎と試験牛舎等の施設が一新される。
- 2010(平成22)年 道内22試験研究機関を統合した地方独立行政法人が創設され、北海道立総合研究機構農業研究本部根釧農業試験場となる。
- 2018(平成30)年 全道の草地酪農研究の中核拠点に位置づけられ、酪農試験場に改称となり、上川農業試験場天北支場が酪農試験場天北支場となる。

## 組織と概要

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構農業研究本部酪農試験場

場長	総務部長	総務課長(兼)	主査(総務)
	酪農研究部長	乳牛グループ 研究主幹 (天北支場研究主幹(兼))	主査(調整) 主査(調整) 主査(飼養) 主査(繁殖)
	草地研究部長	地域技術グループ 研究主幹 (天北支場研究主幹(兼))	主査(地域支援) 主査(経営)
	天北支場(浜頓別町) 支場長	飼料環境グループ 研究主幹 (天北支場研究主幹(兼))	主査(作物) 主査(草地環境)
		主幹	主査(総務)(兼)
		地域技術グループ 研究主幹	主査(地域支援) 主査(地域支援)

北海道農政部生産振興局技術普及課  
酪農試験場技術普及室  
上席普及指導員 — 主任普及指導員  
天北支場技術普及室  
上席普及指導員 — 主任普及指導員

◎ 職員数 (H31.4.1現在)

本場	23名
研究職員	19名
技術職員	7名
事務職員	2名
普及指導員	51名
合計	111名

天北支場

研究職員	5名
技術職員	2名
事務職員	2名
普及指導員	2名
合計	11名

◎ 家畜頭数 (H31.4.1現在)

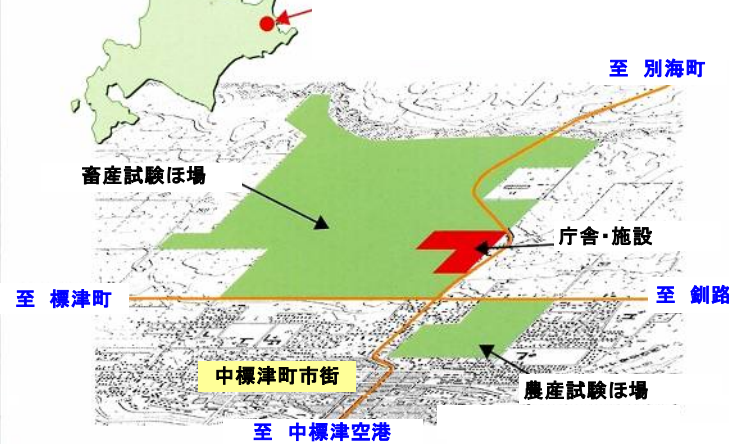
乳牛	成牛	64頭
	育成牛♀	69頭
	♂	0頭
めん羊		8頭

◎ 敷地面積(本場)

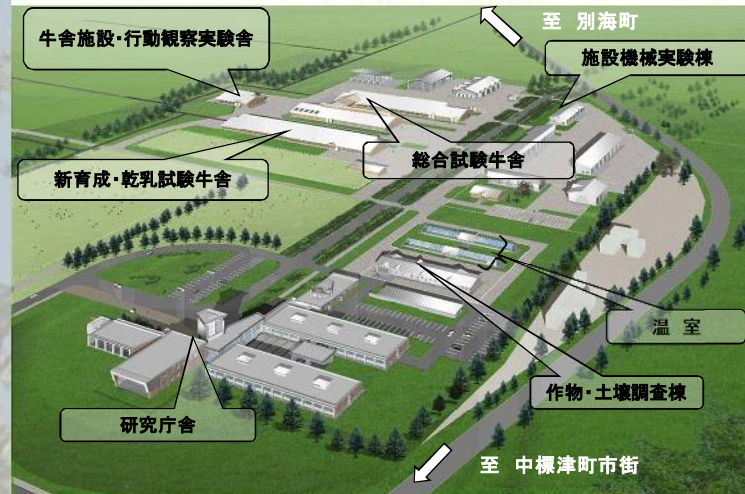
牧草地・放牧地	126ha
試験圃場	11ha
施設・山林等	141ha
合計	278ha

## 位置

地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部酪農試験場  
東経 144度59分  
北緯 43度32分  
標高 約 50 m



## 施設群



〒086-1135  
北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地  
地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構農業研究本部酪農試験場

TEL:0153-72-2004(代) FAX:0153-73-5329  
URL: <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/konsen/>  
e-mail: [konsen-agri@hro.or.jp](mailto:konsen-agri@hro.or.jp)

# 見学のしおり

## 酪農の未来を拓く



地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
農業研究本部酪農試験場

# 研究内容と分担

## 持続的な酪農経営の発展と地域農業の活性化に向けて (地域技術グループ)

低コストで省力的かつ乳牛の健康向上を目指した酪農機械および牛舎施設の試験研究を行っています。

- ・TMRセンター利用酪農体系における良質自給飼料生産利用を基本とするスマート牛群管理体系の実証
- ・TMRセンターにおけるサイレージの品質悪化要因の解明

(機械施設)



環境調査に基づいた  
集団哺育施設の改善

持続的な酪農経営や地域農業の活性化に関する試験研究を行っています。

- ・持続可能な地域作りに向けた人口動態と産業構造の解明
- ・飼養頭数規模の拡大が、牛乳生産費に及ぼす影響と地域間差の解明

(経営)



TMRセンター設立と  
運営支援

地域とともに開発された新技術の導入や現地における実証試験に取り組んでいます。

- ・植生改善技術の継続的な導入による経済効果の現地実証
- ・酪農場における趾蹄の健康管理の技術指導

(地域支援)



酪農家を対象にした  
削蹄講習会の開催

## 地域の活性化支援に向けて 北海道農政生産振興局技術普及課 酪農試験場技術普及室

酪農試験場や関係機関・団体と連携し、農業改良普及センターが行う普及活動の支援や酪農試験場研究部と技術体系化チームを編成して、新技術の総合化と実証に取り組んでいます。

- ・農業試験場で開発した新技術の普及
- ・農業改良普及センター活動の支援
- ・地域農業技術支援会議による地域ニーズの把握と地域課題の解決

現地指導風景



## 環境と調和した高品質自給飼料の生産に向けて (飼料環境グループ)

良好な自給飼料基盤を支える牧草と飼料用とうもろこしの栽培・利用法の試験研究や品種選定・選抜を行っています。

- ・現地選抜を活用した効率的な新品種の育成
- ・採草地における植生改善・維持技術の体系化
- ・衛星データ、地理情報を活用した植生診断など情報システムの開発

(作物)



牧草現地選抜試験

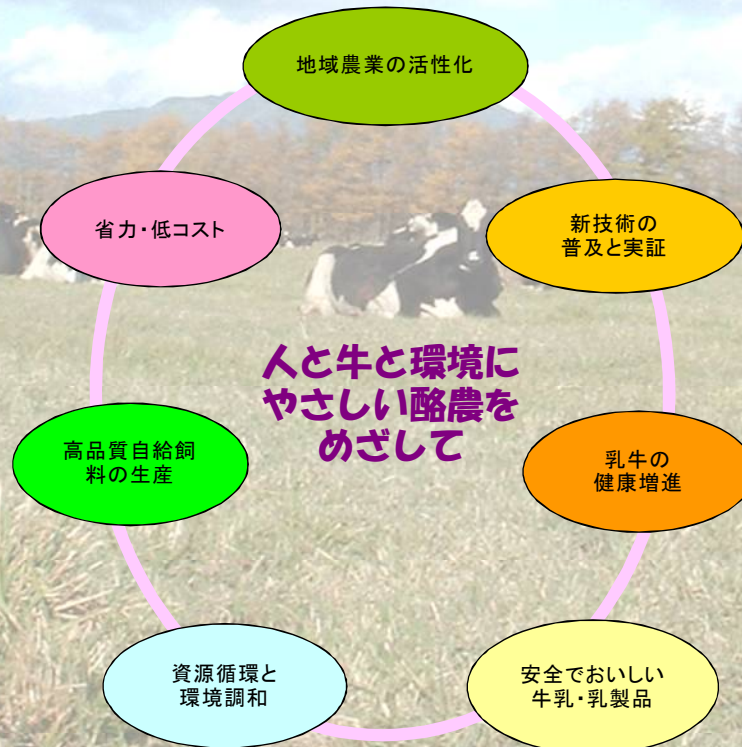
酪農地帯の豊かな自然と調和した生産性の高い草地管理技術確立のための試験研究を行っています。

- ・牧草および飼料用とうもろこしに対する効率的な施肥技術・管理技術
- ・酪農が環境に与える影響の評価

(草地環境)



根釧地域主要  
土壌の断面



## 自給飼料主体で健康的な乳牛の飼養管理に向けて (乳牛グループ)

北海道の豊かな土地資源と自給飼料に立脚した乳牛の飼養管理に関する試験研究を行っています。

- ・出荷時生乳の異常風味発生に関する乳中遊離脂肪酸組成および飼養条件の解明
- ・乳量および体格の向上を目指した初産牛の飼養管理技術の開発
- ・公共牧場における若齢乳用牛の放牧馴致技術の開発
- ・生体センシング技術を活用した次世代精密家畜個体管理システムの開発

(飼養)



自動計量飼槽による  
飼養試験の精密化

乳牛の繁殖管理や生産寿命の延長をめざした健康管理についての試験研究を行っています。

- ・牛群検定の乳中ケトン体濃度を活用した飼養管理評価手法の開発
- ・低侵襲・簡易迅速な牛の早期妊娠判定技術の開発
- ・乳牛個体間の社会的順位による発情発見アルゴリズムの開発

(繁)



乳牛の発情期行動

○各種試験に用いる乳牛130頭前後(成牛・育成牛)と餌の消化率測定に用いる綿羊10頭前後を日々管理しています(搾乳や給餌、体重測定など)。  
○試験場で飼養する乳牛の餌も生産しています。

## 研究支援

### 総務部

試験場の運営に関する事務全般を担当しています。

観測地	根雪始	根雪終	耕鋤始	積雪期間	農耕期間(5月-9月)の合計		
					積算気温	降水量	日照時間
中標津	12月18日	4月8日	5月5日	112日	2270℃	720mm	647時間
長沼	12月8日	4月2日	4月15日	116日	2639℃	586mm	791時間
芽室	12月3日	4月3日	4月15日	122日	2535℃	610mm	652時間
訓子府	12月6日	4月9日	4月28日	125日	2466℃	505mm	790時間
浜頓別	11月20日	4月13日	4月29日	145日	2322℃	413mm	751時間

※値は平成30年時点における農業試験場作況調査(平成20~29年)の平均値